

羽曳野市転入・転出者アンケート調査結果（速報）

令和4年10月12日

目次

1, 調査概要.....	1
2, 転入者アンケート調査の結果.....	2
3, 転出者アンケート調査の結果.....	16

1, 調査概要

(1) 調査対象

転入者アンケート	過去3年間の羽曳野市へ転入者のうち、令和4年7月末時点で18歳～65歳の方から無作為に抽出した900名
転出者アンケート	過去3年間の羽曳野市からの転出者のうち、令和4年7月末時点で18歳～65歳の方から無作為に抽出した1,200名

(2) 調査方法

調査票配布方法：郵送

回答方法：①インターネット回答、②調査票回答郵便返送のいずれか

(3) 調査期間

令和4年9月1日～9月23日

(4) 回収数

	回収数	回収率
転入者アンケート	263件 (①WEB：126件 ②郵送：137件)	29.2%
転出者アンケート	265件 (①WEB：137件 ②郵送：128件)	22.1%

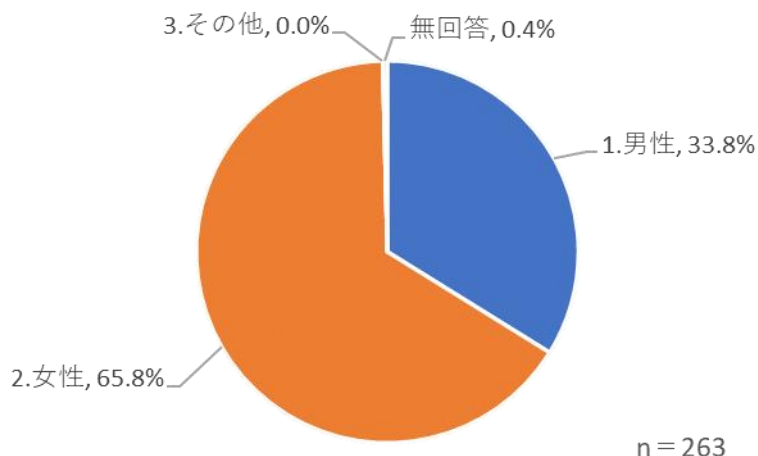
2, 転入者アンケート調査の結果

(1) 回答者の性別

問1 あなたの性別を教えてください。(1つに○)

回答者は女性が6割以上で多かった。

	構成比	回答数
1.男性	33.8%	89
2.女性	65.8%	173
3.その他	0.0%	0
無回答	0.4%	1
合計	100.0%	263

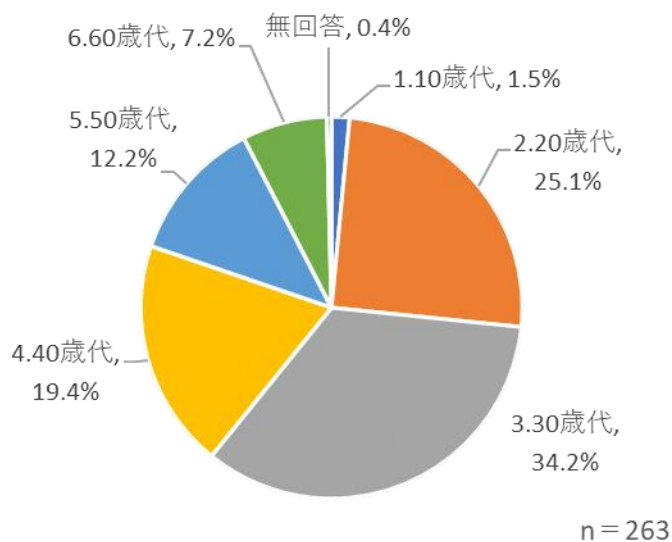


(2) 回答者の年齢

問2 あなたの年齢を教えてください。(1つに○)

回答者の年齢は、30歳代(34.2%)が最も多く、次いで20歳代(25.1%)、40歳代(19.4%)と若い世代の回答が得られた。

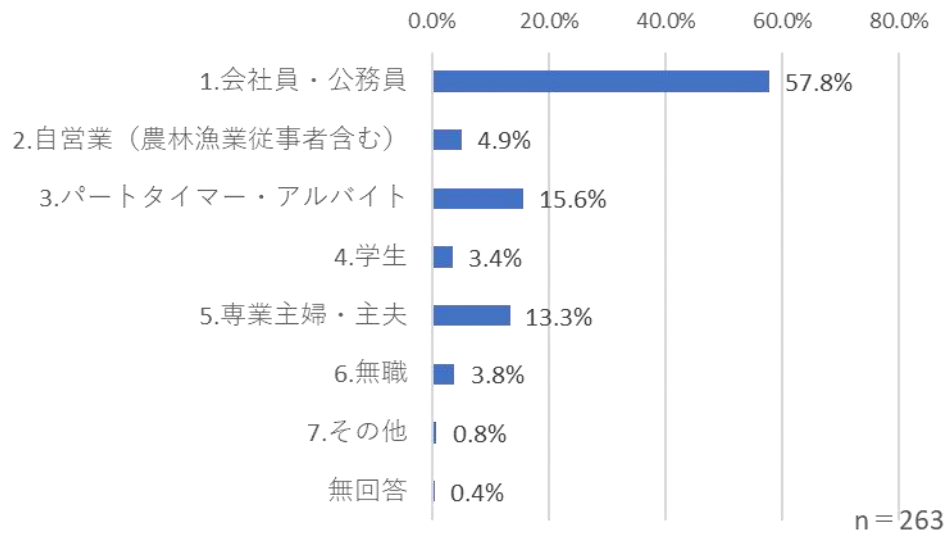
	構成比	回答数
1.10歳代	1.5%	4
2.20歳代	25.1%	66
3.30歳代	34.2%	90
4.40歳代	19.4%	51
5.50歳代	12.2%	32
6.60歳代	7.2%	19
無回答	0.4%	1
合計	100.0%	263



(3) 回答者の職業

問3 あなたの職業を教えてください。(1つに○)

回答者の職業は、「会社員・公務員」(57.8%)が6割近くで多数を占め、次いで「パートタイマー・アルバイト」(15.6%)、「専業主婦・主夫」(13.3%)が多かった。

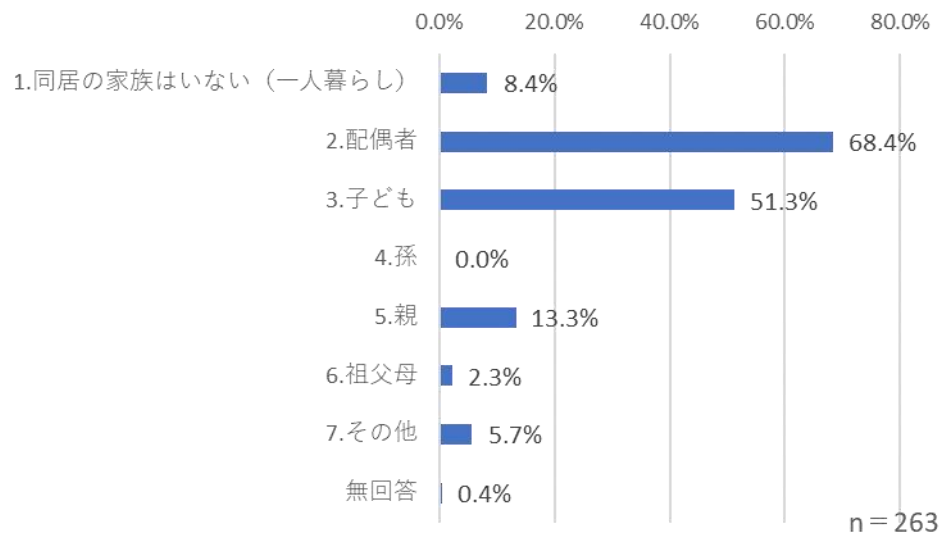


	構成比	回答数
1.会社員・公務員	57.8%	152
2.自営業（農林漁業従事者含む）	4.9%	13
3.パートタイマー・アルバイト	15.6%	41
4.学生	3.4%	9
5.専業主婦・主夫	13.3%	35
6.無職	3.8%	10
7.その他	0.8%	2
無回答	0.4%	1
合計	100.0%	263

(4) 同居家族

問4 あなたと同居している家族の方を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

回答者が同居している家族は、「配偶者」（68.4%）、「子ども」（51.3%）が多く、次いで「親」（13.3%）で、「一人暮らし」（8.4%）は少なかった。



	構成比	回答数
1.同居の家族はいない（一人暮らし）	8.4%	22
2.配偶者	68.4%	180
3.子ども	51.3%	135
4.孫	0.0%	0
5.親	13.3%	35
6.祖父母	2.3%	6
7.その他	5.7%	15
無回答	0.4%	1
回答者計	-	263

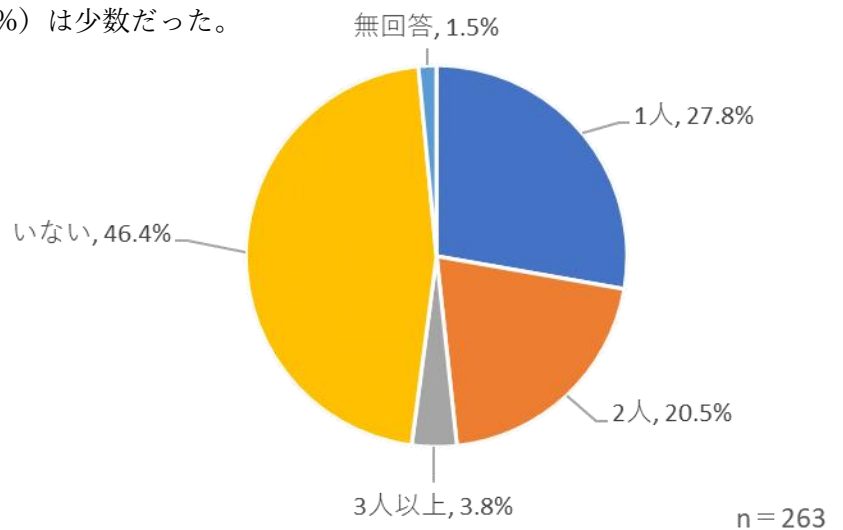
※構成比はアンケート全回答者数に対する比率

(5) 同居している子どもの人数

問5 あなたと同居しているお子さんの人数を教えてください。（1つに○）

回答者と同居している子どもの人数は、「いない」（46.4%）が半数近くで最も多く、「1人」（27.8%）、「2人」（20.5%）と多く、「3人以上」（3.8%）は少数だった。

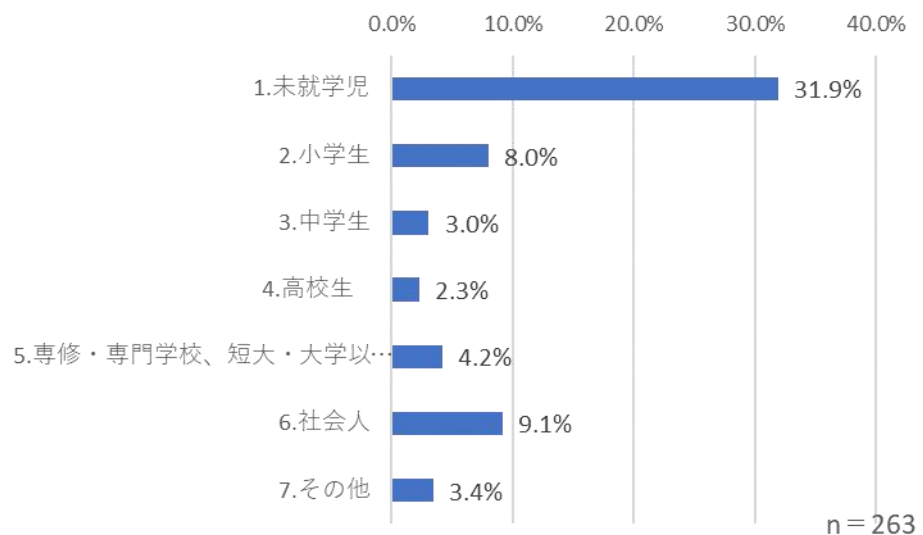
	構成比	回答数
1人	27.8%	73
2人	20.5%	54
3人以上	3.8%	10
いない	46.4%	122
無回答	1.5%	4
合計	100.0%	263



(6) 同居している子どもの状況

問6 あなたと同居しているお子さんに次の方はいますか。（あてはまるものすべてに○）

同居している子どもは、未就学児（31.9%）が3割以上で最も多く、次いで、社会人（9.1%）、小学生（8.0%）であった。



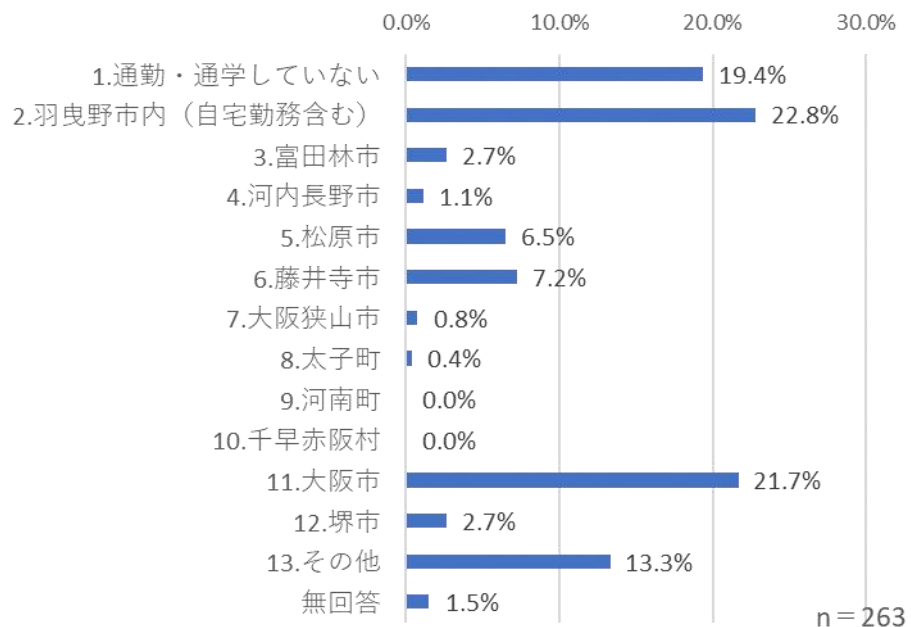
	構成比	回答数
1.未就学児	31.9%	84
2.小学生	8.0%	21
3.中学生	3.0%	8
4.高校生	2.3%	6
5.専修・専門学校、短大・大学以上の学生	4.2%	11
6.社会人	9.1%	24
7.その他	3.4%	9
回答者計	-	263

※構成比はアンケート全回答者数に対する比率

(7) 回答者の通勤・通学先

問7 あなたの通勤・通学先を教えてください。(1つに○)

回答者の通勤・通学先は、「羽曳野市内(自宅勤務含む)」(22.8%)が最も多く、次いで「大阪市」(21.7%)、「通勤・通学していない」(19.4%)が多かった。隣接市では「藤井寺市」(7.2%)、「松原市」(6.5%)が多かった。



	構成比	回答数
1.通勤・通学していない	19.4%	51
2.羽曳野市内(自宅勤務含む)	22.8%	60
3.富田林市	2.7%	7
4.河内長野市	1.1%	3
5.松原市	6.5%	17
6.藤井寺市	7.2%	19
7.大阪狭山市	0.8%	2

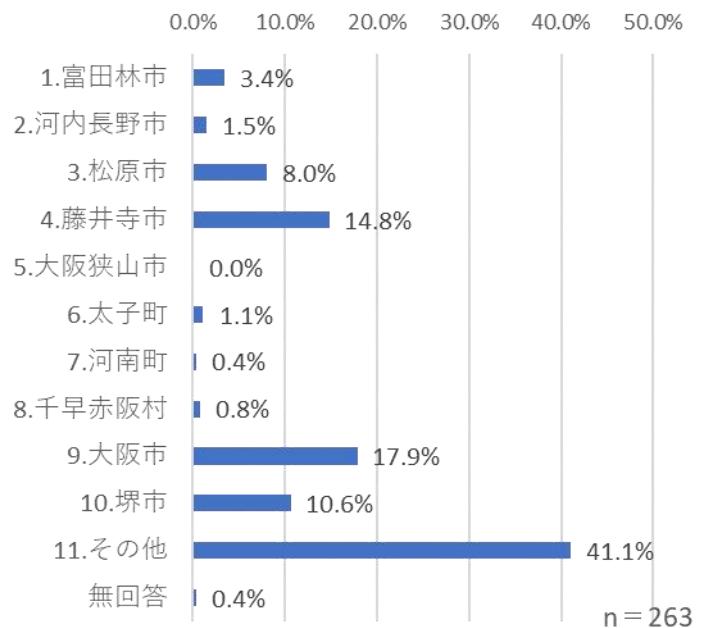
8.太子町	0.4%	1
9.河南町	0.0%	0
10.千早赤阪村	0.0%	0
11.大阪市	21.7%	57
12.堺市	2.7%	7
13.その他	13.3%	35
無回答	1.5%	4
合計	100.0%	263

(8) 回答者の前住市町村

問8 あなたが羽曳野市に引越す前に住んでいた市町村を教えてください。(1つに○)

回答者の前住市町村は、そのほかが4割以上となったが、大阪市(17.9%)、藤井寺市(14.8%)、堺市(10.6%)が多かった。

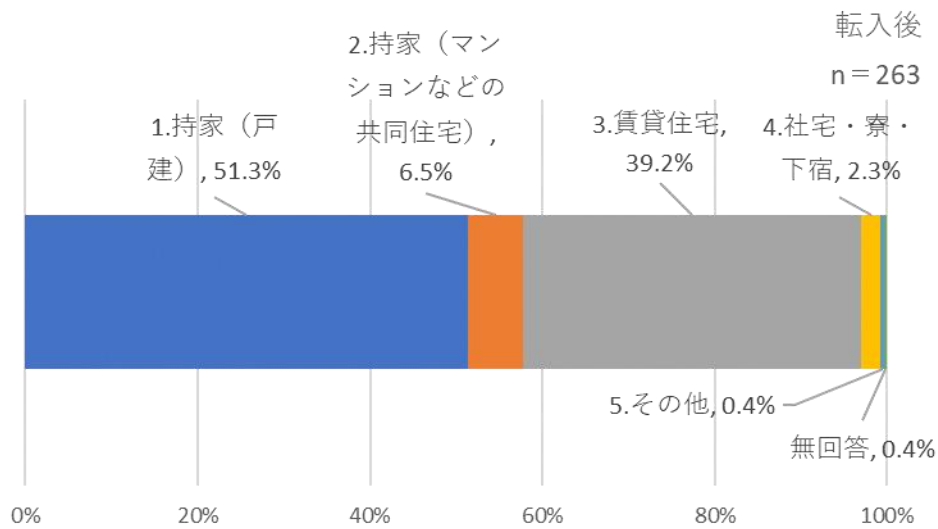
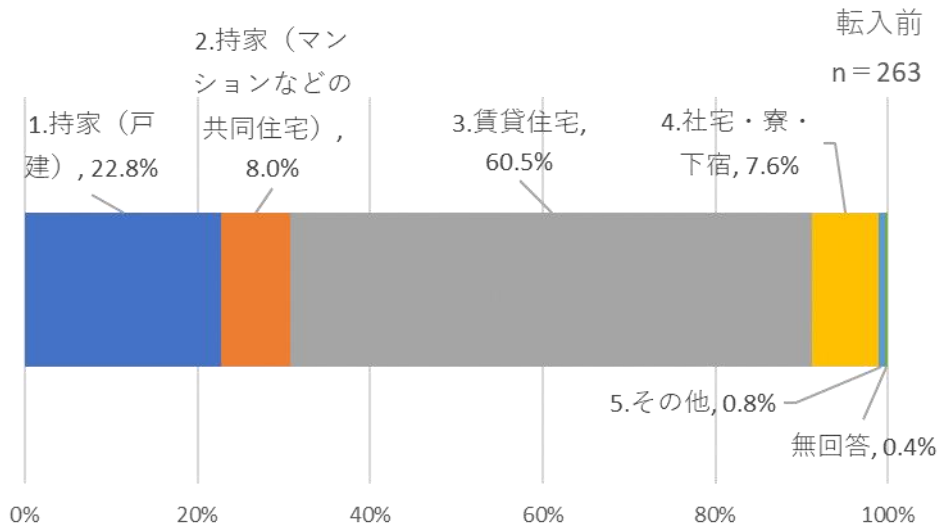
	構成比	回答数
1.富田林市	3.4%	9
2.河内長野市	1.5%	4
3.松原市	8.0%	21
4.藤井寺市	14.8%	39
5.大阪狭山市	0.0%	0
6.太子町	1.1%	3
7.河南町	0.4%	1
8.千早赤阪村	0.8%	2
9.大阪市	17.9%	47
10.堺市	10.6%	28
11.その他	41.1%	108
無回答	0.4%	1
合計	100.0%	263



(9) 転入前後の住宅

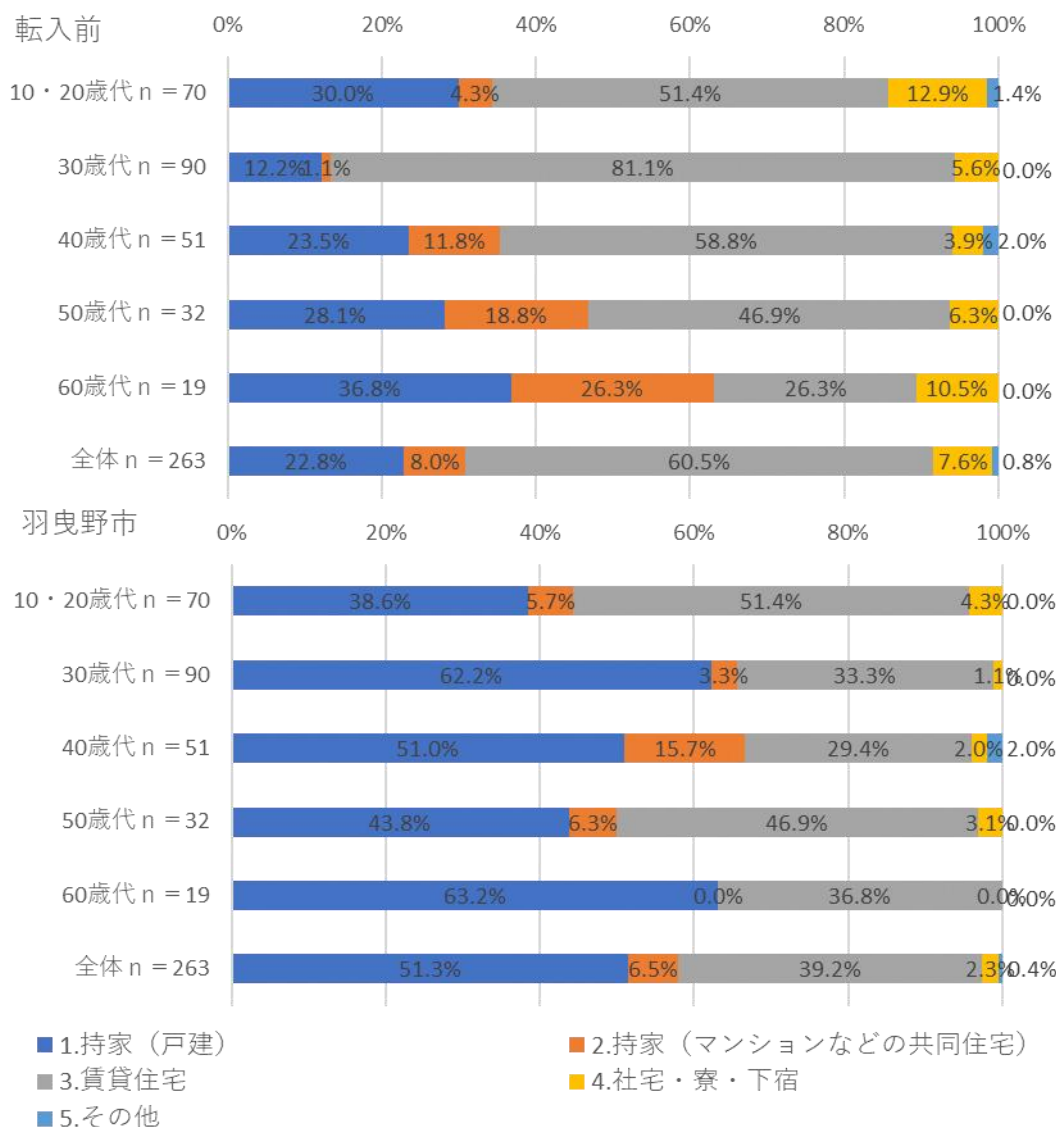
問9 引越す前(転入前)と引越した後(羽曳野市)の住宅を教えてください。なお、「持家」には家族が所有するものを含みます。(それぞれ1つに○)

羽曳野市への転入後の住宅は、持家(戸建)(51.3%)が多い。転入前は22.8%であることから、羽曳野市で持家(戸建)を得ている人が多いことがわかる。



	転入前		転入後	
	構成比	回答数	構成比	回答数
1.持家（戸建）	22.8%	60	51.3%	135
2.持家（マンションなどの共同住宅）	8.0%	21	6.5%	17
3.賃貸住宅	60.5%	159	39.2%	103
4.社宅・寮・下宿	7.6%	20	2.3%	6
5.その他	0.8%	2	0.4%	1
無回答	0.4%	1	0.4%	1
合計	100.0%	263	100.0%	263

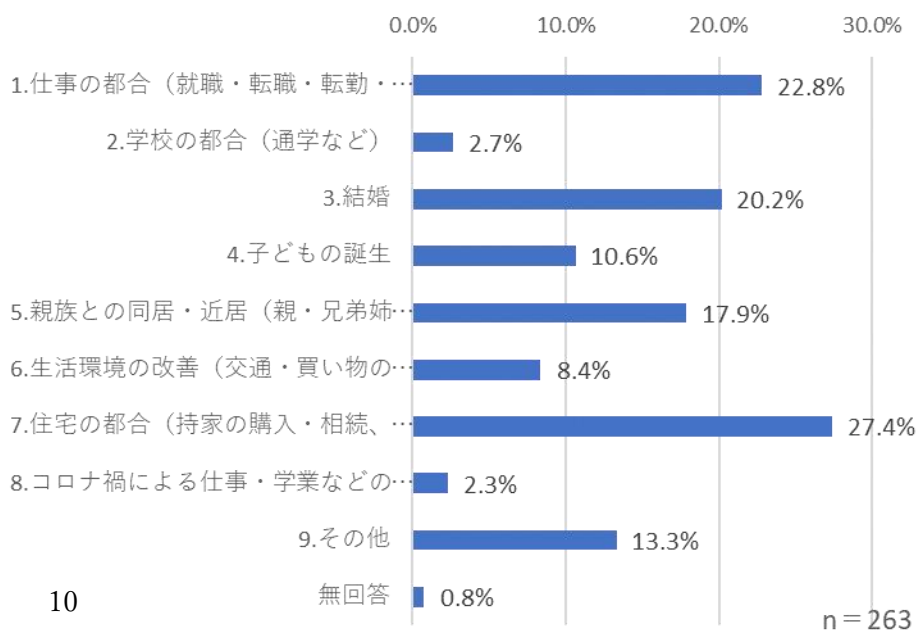
回答者の年齢別にみると、転入後（羽曳野市）では、30歳代、40歳代、60歳代で「持家（戸建）」の比率が大きい。



(10) 羽曳野市に引越すこととなったきっかけ

問 10 あなたが羽曳野市に引越すこととなったきっかけを教えてください。
 (あてはまるものすべてに○)

羽曳野市に引越すこととなったきっかけは、「住宅の都合（持家の購入・相続、賃貸住宅の借り換えなど）」(27.4%)が最も多く、次いで「仕事の都合（就職・転職・転勤・退職など）」(22.8%)、「結婚」(20.2%)、「親族との同居・近居（親・兄弟姉妹など）」(17.9%)が多かった。



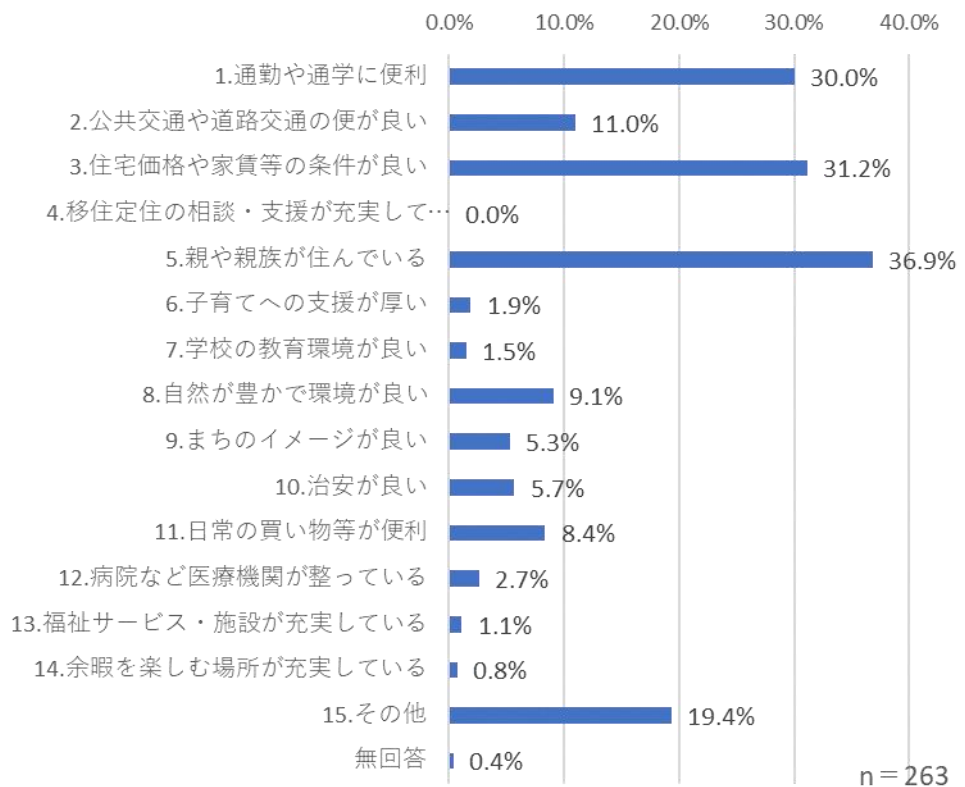
	構成比	回答数
1.仕事の都合（就職・転職・転勤・退職など）	22.8%	60
2.学校の都合（通学など）	2.7%	7
3.結婚	20.2%	53
4.子どもの誕生	10.6%	28
5.親族との同居・近居（親・兄弟姉妹など）	17.9%	47
6.生活環境の改善（交通・買い物の利便性、治安、医療介護など）	8.4%	22
7.住宅の都合（持家の購入・相続、賃貸住宅の借り換えなど）	27.4%	72
8.コロナ禍による仕事・学業などの環境の変化（テレワーク、オンラインなど）や感染リスクの回避	2.3%	6
9.その他	13.3%	35
無回答	0.8%	2
回答者計	—	263

※構成比はアンケート全回答者数に対する比率

(11) 羽曳野市に住むことを決めた主な理由

問 11 あなたが羽曳野市に住むことを決めた主な理由を教えてください。（3つまでに○）

羽曳野市に住むことを決めた主な理由としては、「親や親族が住んでいる」(36.9%)、「住宅価格や家賃等の条件が良い」(31.2%)、「通勤や通学に便利」(30.0%)が多かった。



	構成比	回答数
1.通勤や通学に便利	30.0%	79
2.公共交通や道路交通の便が良い	11.0%	29
3.住宅価格や家賃等の条件が良い	31.2%	82
4.移住定住の相談・支援が充実している	0.0%	0
5.親や親族が住んでいる	36.9%	97
6.子育てへの支援が厚い	1.9%	5
7.学校の教育環境が良い	1.5%	4
8.自然が豊かで環境が良い	9.1%	24
9.まちのイメージが良い	5.3%	14
10.治安が良い	5.7%	15
11.日常の買い物等が便利	8.4%	22
12.病院など医療機関が整っている	2.7%	7
13.福祉サービス・施設が充実している	1.1%	3
14.余暇を楽しむ場所が充実している	0.8%	2
15.その他	19.4%	51
無回答	0.4%	1
回答者計	-	263

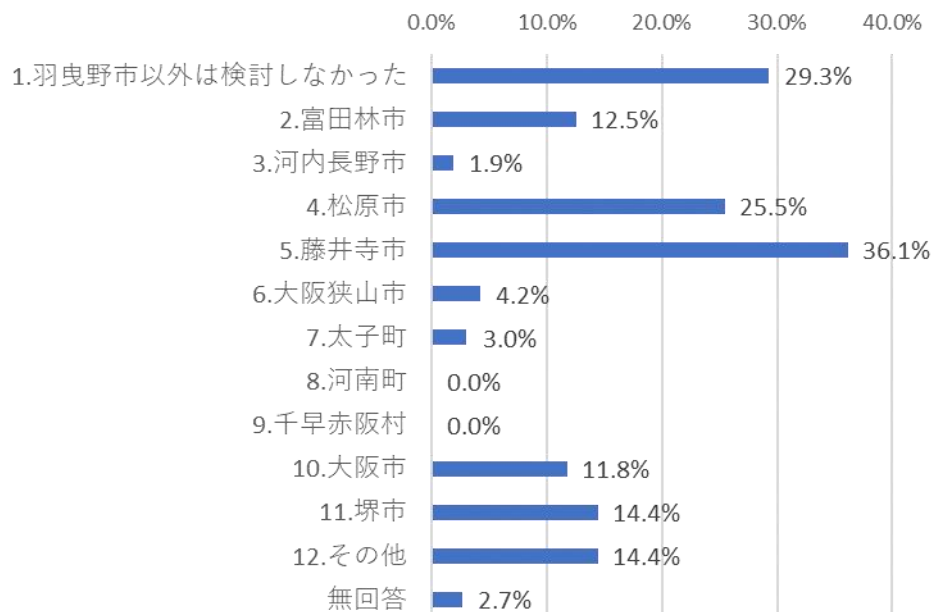
※構成比はアンケート全回答者数に対する比率

(12) 羽曳野市以外で引越し先として検討した市町村

問 12 あなたが羽曳野市以外で引越し先として検討した市町村を教えてください。

(あてはまるものすべてに○)

羽曳野市以外で引越し先として検討した市町村としては、「羽曳野市以外は検討しなかった」(29.3%)も多かったが、藤井寺市(36.1%)が最も多かった。次いで松原市(25.5%)、堺市(14.4%)、富田林市(12.5%)、大阪市(11.8%)が検討した市としてあげられている。



n = 263

	構成比	回答数
1.羽曳野市以外は検討しなかった	29.3%	77
2.富田林市	12.5%	33
3.河内長野市	1.9%	5
4.松原市	25.5%	67
5.藤井寺市	36.1%	95
6.大阪狭山市	4.2%	11
7.太子町	3.0%	8
8.河南町	0.0%	0
9.千早赤阪村	0.0%	0
10.大阪市	11.8%	31
11.堺市	14.4%	38
12.その他	14.4%	38
無回答	2.7%	7
回答者計	-	263

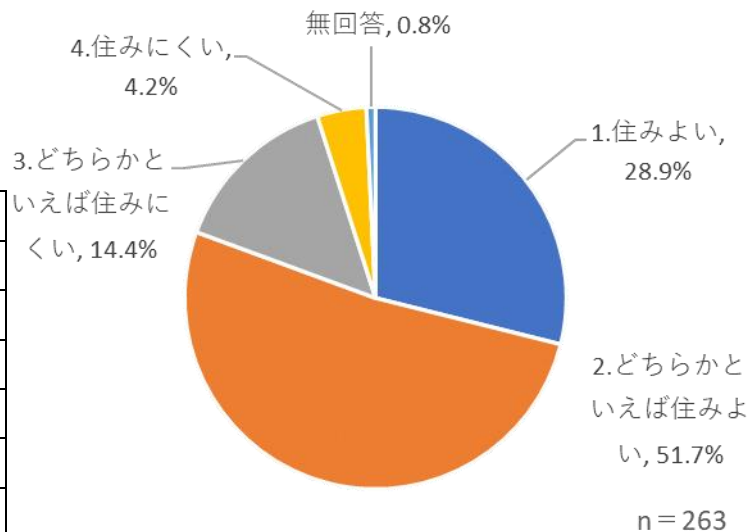
※構成比はアンケート全回答者数に対する比率

(13) 羽曳野市の住み心地

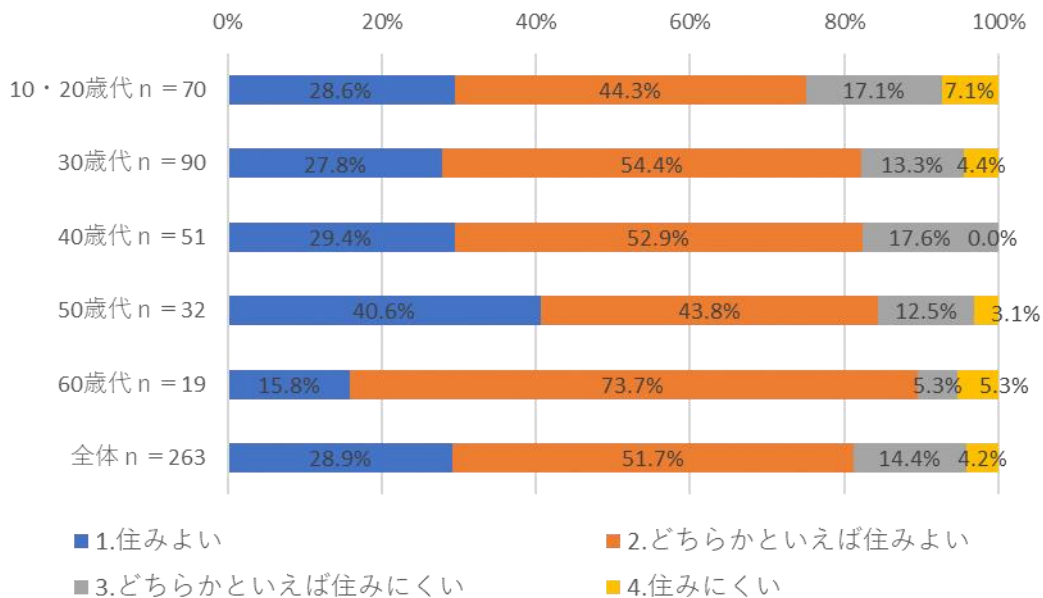
問 13 あなたは羽曳野市の住み心地をどう感じていますか。(1つに○)

羽曳野市の住み心地について、「住みよい」(28.9%)
「どちらかといえば住みよい」(51.7%)を合わせると
80%を超えている。

	構成比	回答数
1.住みよい	28.9%	76
2.どちらかといえば住みよい	51.7%	136
3.どちらかといえば住みにくい	14.4%	38
4.住みにくい	4.2%	11
無回答	0.8%	2
合計	100.0%	263



回答者の年齢別にみると、「住みよい」の割合は50歳代(40.6%)で最も大きい。「住みにくい」10・20歳代(7.1%)、「どちらかといえば住みにくい」は40歳代(17.6%)と10・20歳代(17.1%)で大きくなっている。

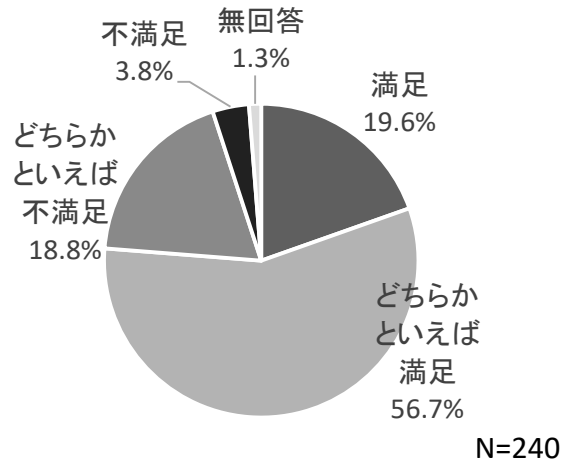


平成 27 年転入者アンケートでは「羽曳野市に住んで満足しているか」をたずねているが、「満足」(19.6%) 「どちらかといえば満足」(56.7%) となっていた。今回のアンケート調査では、前回に比べると「住みよい」の割合が増加し、「どちらかといえば住みよい」を合わせた割合も 80%を超えている。

<参考>平成 27 年転入者アンケート

羽曳野市にお住まいになって、満足されていますか。(1つに○印)

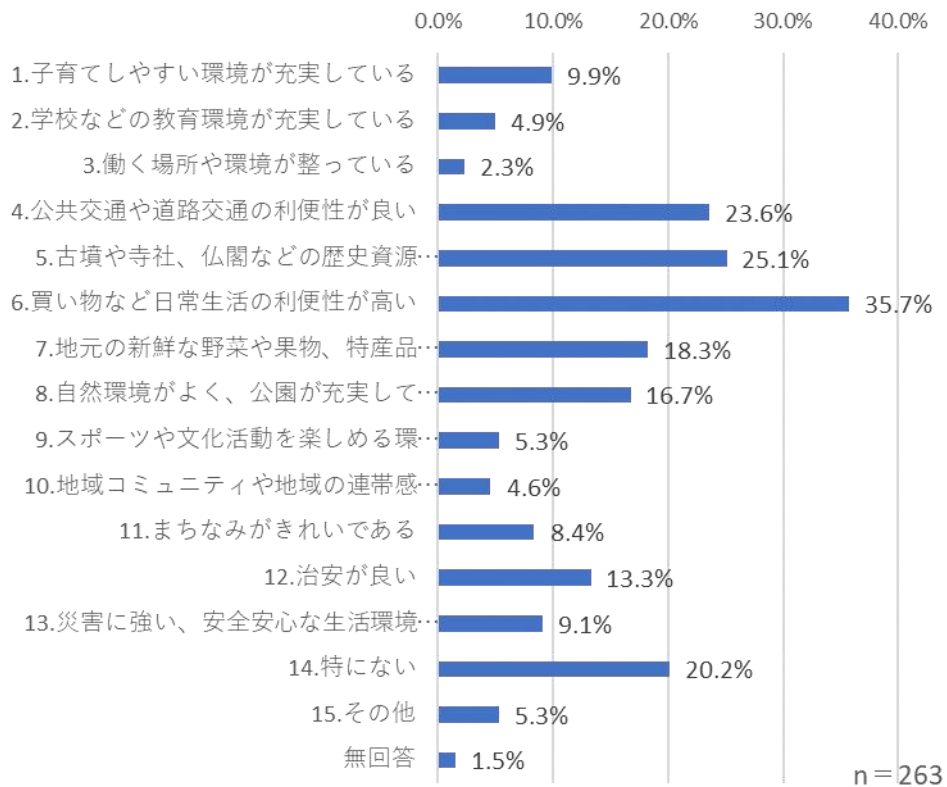
「どちらかといえば満足」が 56.7%と最も高く、次いで「満足」が 19.6%でこれら合わせた満足度は 76.3%を占めている。一方、「どちらかといえば不満足」は 18.9%、「不満足」は 3.8%でこれらを合わせた不満足度は 22.7%と低くなっている。



(14) 羽曳野市で生活していて良いこと

問 14 羽曳野市で生活していて良いことを教えてください。(あてはまるものすべてに○)

羽曳野市で生活していて良いことは、「買い物など日常生活の利便性が高い」(35.7%)、「古墳や寺社、仏閣などの歴史資源が豊か」(25.1%)、「公共交通や道路交通の利便性が良い」(23.6%)、「地元の新鮮な野菜や果物、特産品が豊富」(18.3%)、「自然環境がよく、公園が充実している」(16.7%)、「治安が良い」(13.3%) が多くあげられている。



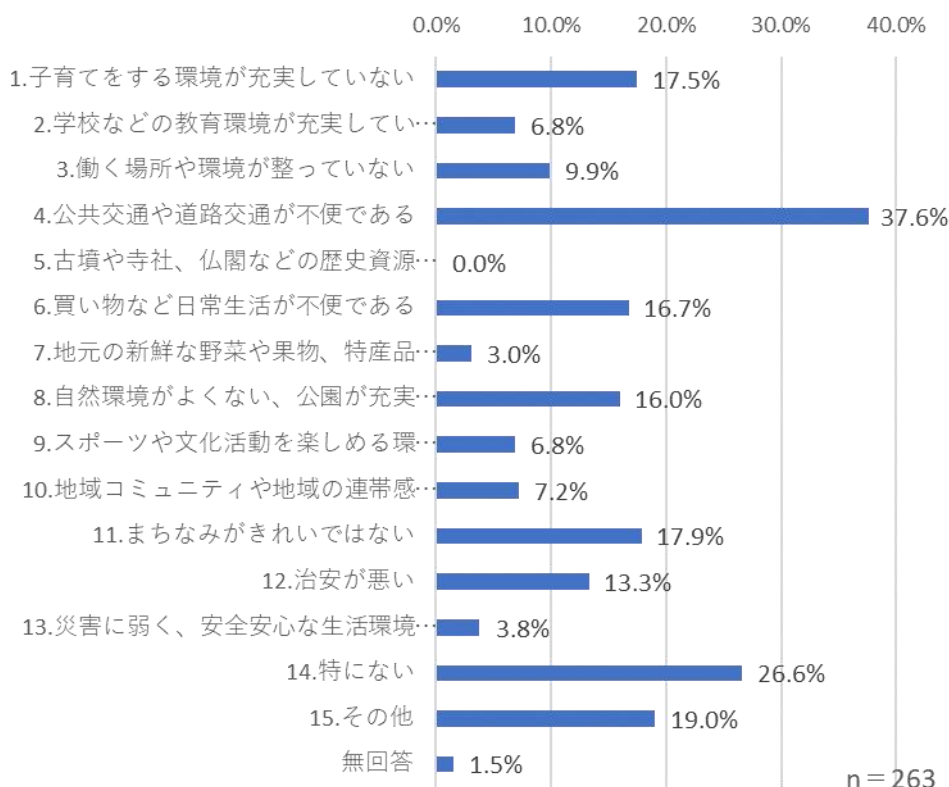
	構成比	回答数
1.子育てしやすい環境が充実している	9.9%	26
2.学校などの教育環境が充実している	4.9%	13
3.働く場所や環境が整っている	2.3%	6
4.公共交通や道路交通の利便性が良い	23.6%	62
5.古墳や寺社、仏閣などの歴史資源が豊富	25.1%	66
6.買い物など日常生活の利便性が高い	35.7%	94
7.地元の新鮮な野菜や果物、特産品が豊富	18.3%	48
8.自然環境がよく、公園が充実している	16.7%	44
9.スポーツや文化活動を楽しめる環境が整っている	5.3%	14
10.地域コミュニティや地域の連帯感が高い	4.6%	12
11.まちなみがきれいである	8.4%	22
12.治安が良い	13.3%	35
13.災害に強い、安全安心な生活環境が整っている	9.1%	24
14.特にな	20.2%	53
15.その他	5.3%	14
無回答	1.5%	4
回答者計	-	263

※構成比はアンケート全回答者数に対する比率

(15) 羽曳野市で生活していて不満なこと

問 15 羽曳野市で生活していて不満なことを教えてください。(あてはまるものすべてに○)

羽曳野市で生活していて不満なことは、「公共交通や道路交通が不便である」(37.6%)、「まちなみがきれいではない」(17.9%)、「1.子育てをする環境が充実していない」(17.5%)、「買い物など日常生活が不便である」(16.7%)、「自然環境がよくない、公園が充実していない」(16.0%)、「治安が悪い」(13.3%)が多くあげられている。なお「古墳や寺社、仏閣などの歴史資源に乏しい」は0だった。



	構成比	回答数
1.子育てをする環境が充実していない	17.5%	46
2.学校などの教育環境が充実していない	6.8%	18
3.働く場所や環境が整っていない	9.9%	26
4.公共交通や道路交通が不便である	37.6%	99
5.古墳や寺社、仏閣などの歴史資源に乏しい	0.0%	0
6.買い物など日常生活が不便である	16.7%	44
7.地元の新鮮な野菜や果物、特産品に乏しい	3.0%	8
8.自然環境がよくない、公園が充実していない	16.0%	42
9.スポーツや文化活動を楽しめる環境が整っていない	6.8%	18
10.地域コミュニティや地域の連帯感が低い	7.2%	19
11.まちなみがきれいではない	17.9%	47
12.治安が悪い	13.3%	35
13.災害に弱く、安全安心な生活環境が整っていない	3.8%	10

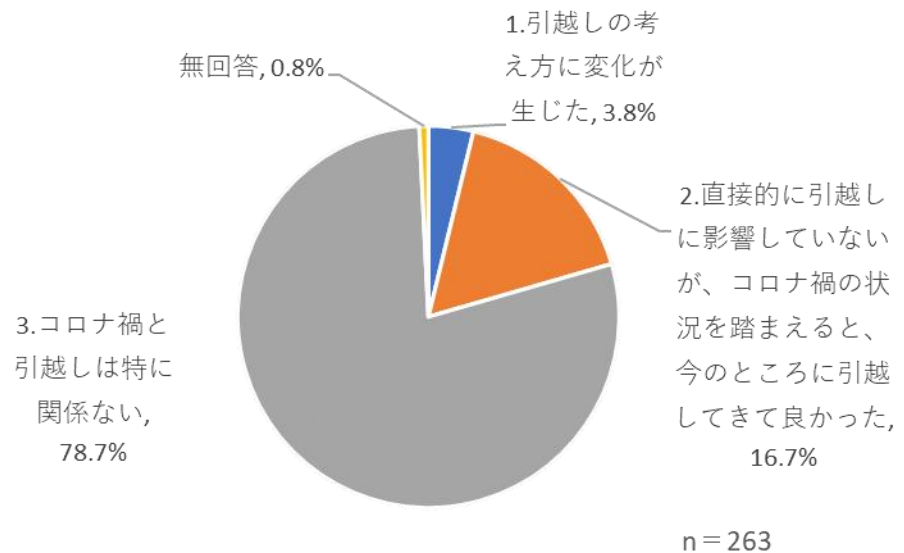
14.特にない	26.6%	70
15.その他	19.0%	50
無回答	1.5%	4
回答者計	-	263

※構成比はアンケート全回答者数に対する比率

(16) コロナ禍による引越しの考え方への影響

問 16 コロナ禍によって、あなたの引越しの考え方によどのような影響があるか教えてください。
(1つに○)

コロナ禍による引越しの考え方への影響については、「コロナ禍と引越しは特に関係ない」(78.7%)が多数だったが、「直接的に引越しに影響していないが、コロナ禍の状況を踏まえると、今のところに引越してきて良かった」(16.7%)と羽曳野市に引越してよかったという意見も見られた。



	構成比	回答数
1.引越しの考え方に変化が生じた（コロナ禍が原因で引越した、引越し先の物件や地域を再検討したなど）	3.8%	10
2.直接的に引越しに影響していないが、コロナ禍の状況を踏まえると、今のところに引越してきて良かった	16.7%	44
3.コロナ禍と引越しは特に関係ない	78.7%	207
無回答	0.8%	2
合計	100.0%	263

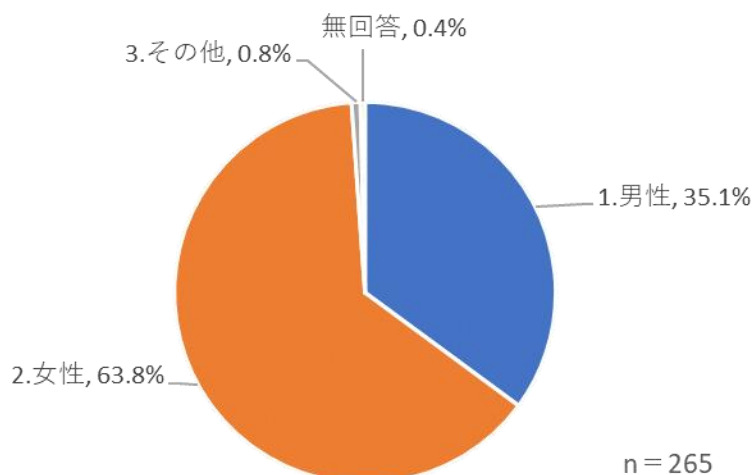
3, 転出者アンケート調査の結果

(1) 回答者の性別

問1 あなたの性別を教えてください。(1つに○)

回答者は女性が6割以上で多かった。

	構成比	回答数
1.男性	35.1%	93
2.女性	63.8%	169
3.その他	0.8%	2
無回答	0.4%	1
合計	100.0%	265

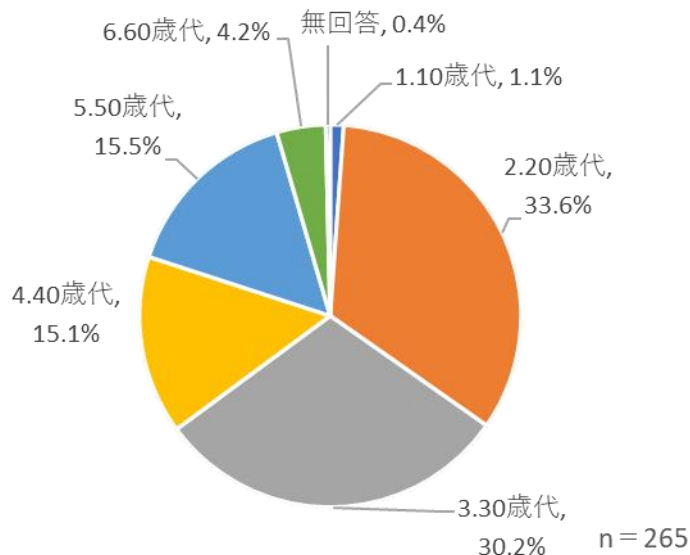


(2) 回答者の年齢

問2 あなたの年齢を教えてください。(1つに○)

回答者の年齢は、20歳代(33.6%)が最も多く、次いで30歳代(30.2%)、50歳代(15.5%)、40歳代(15.1%)と若い世代の回答が得られた。

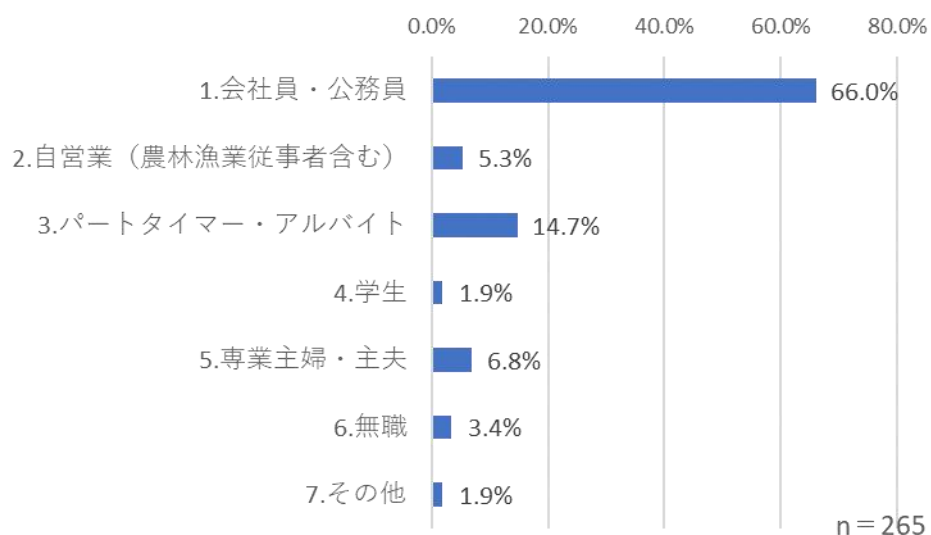
	構成比	回答数
1.10歳代	1.1%	3
2.20歳代	33.6%	89
3.30歳代	30.2%	80
4.40歳代	15.1%	40
5.50歳代	15.5%	41
6.60歳代	4.2%	11
無回答	0.4%	1
合計	100.0%	265



(3) 回答者の職業

問3 あなたの職業を教えてください。(1つに○)

回答者の職業は、「会社員・公務員」(66.0%)が6割以上で多数を占め、次いで「パートタイマー・アルバイト」(14.7%)が多かった。

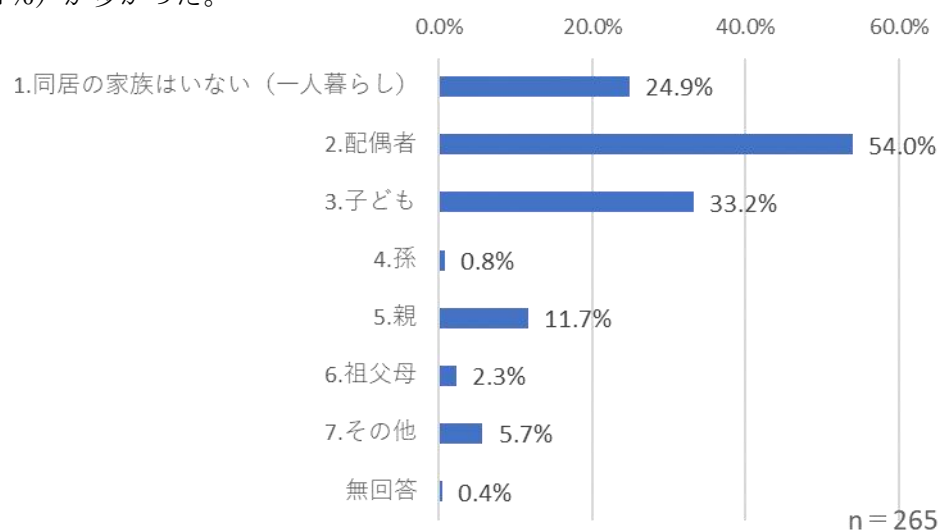


	構成比	回答数
1.会社員・公務員	66.0%	175
2.自営業（農林漁業従事者含む）	5.3%	14
3.パートタイマー・アルバイト	14.7%	39
4.学生	1.9%	5
5.専業主婦・主夫	6.8%	18
6.無職	3.4%	9
7.その他	1.9%	5
合計	100.0%	265

(4) 同居家族

問4 あなたと同居している家族の方を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

回答者が同居している家族は、「配偶者」(54.0%)、「子ども」(33.2%)が多く、次いで「一人暮らし」(24.9%)、「親」(11.7%)が多かった。



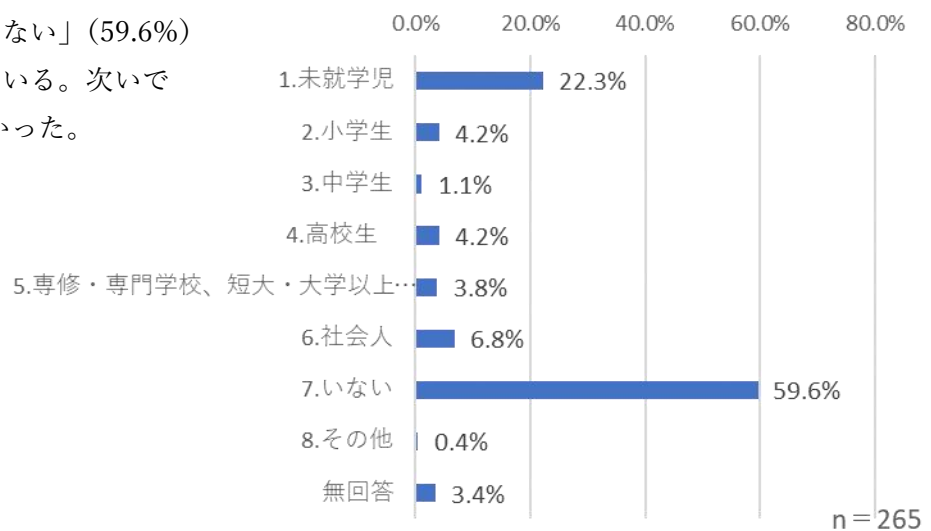
	構成比	回答数
1.同居の家族はいない（一人暮らし）	24.9%	66
2.配偶者	54.0%	143
3.子ども	33.2%	88
4.孫	0.8%	2
5.親	11.7%	31
6.祖父母	2.3%	6
7.その他	5.7%	15
無回答	0.4%	1
回答者計	-	265

※構成比はアンケート全回答者数に対する比率

(5) 同居している子どもの状況

問5 あなたと同居しているお子さんに次の方はいますか。（あてはまるものすべてに○）

同居している子どもは「いない」（59.6%）
が最も多く6割近くを占めている。次いで
「未就学児」（22.3%）が多かった。



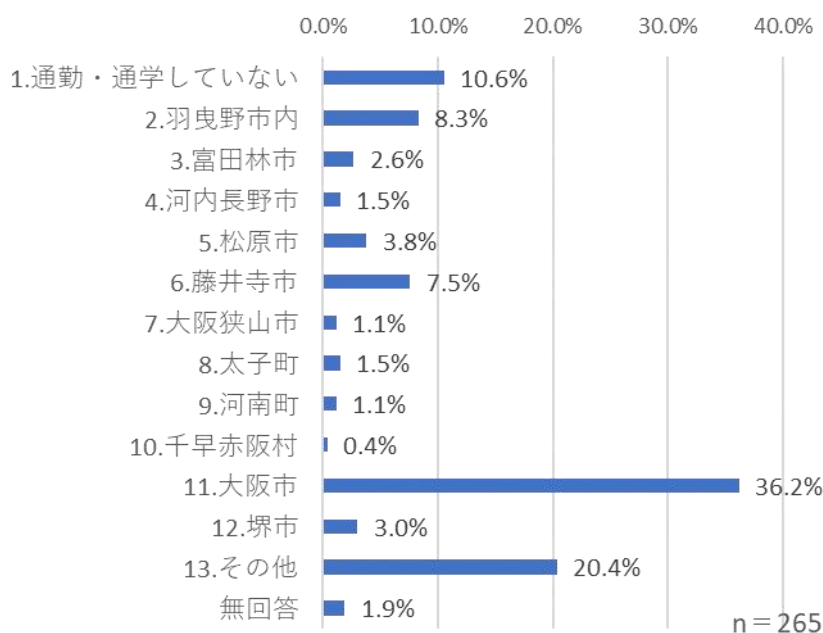
	構成比	回答数
1.未就学児	22.3%	59
2.小学生	4.2%	11
3.中学生	1.1%	3
4.高校生	4.2%	11
5.専修・専門学校、短大・大学以上の学生	3.8%	10
6.社会人	6.8%	18
7.いない	59.6%	158
8.その他	0.4%	1
無回答	3.4%	9
回答者計	-	265

※構成比はアンケート全回答者数に対する比率

(6) 回答者の通勤・通学先

問6 あなたの通勤・通学先を教えてください。(1つに○)

回答者の通勤・通学先は、「大阪市」(36.2%)が最も多く、次いで、「通勤・通学していない」(10.6%)、羽曳野市内(8.3%)、藤井寺市(7.5%)が多かった。



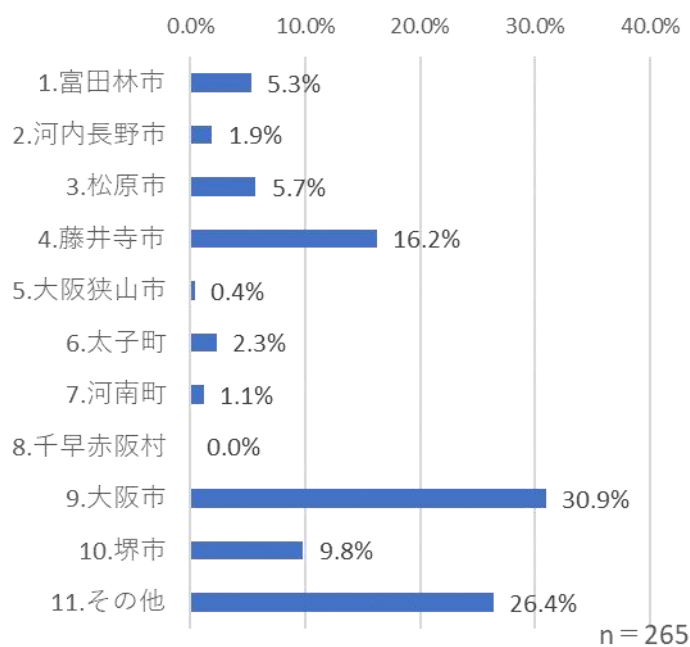
	構成比	回答数
1.通勤・通学していない	10.6%	28
2.羽曳野市内	8.3%	22
3.富田林市	2.6%	7
4.河内長野市	1.5%	4
5.松原市	3.8%	10
6.藤井寺市	7.5%	20
7.大阪狭山市	1.1%	3
8.太子町	1.5%	4
9.河南町	1.1%	3
10.千早赤阪村	0.4%	1
11.大阪市	36.2%	96
12.堺市	3.0%	8
13.その他	20.4%	54
無回答	1.9%	5
合計	100.0%	265

(7) 引越後の市町村

問7 羽曳野市から引越した後の市町村を教えてください。(1つに○)

転出先は、大阪市 (30.9%) が最も多く、次いで「その他」(26.4%)、藤井寺市 (16.2%)、堺市 (9.8%) が多かった。

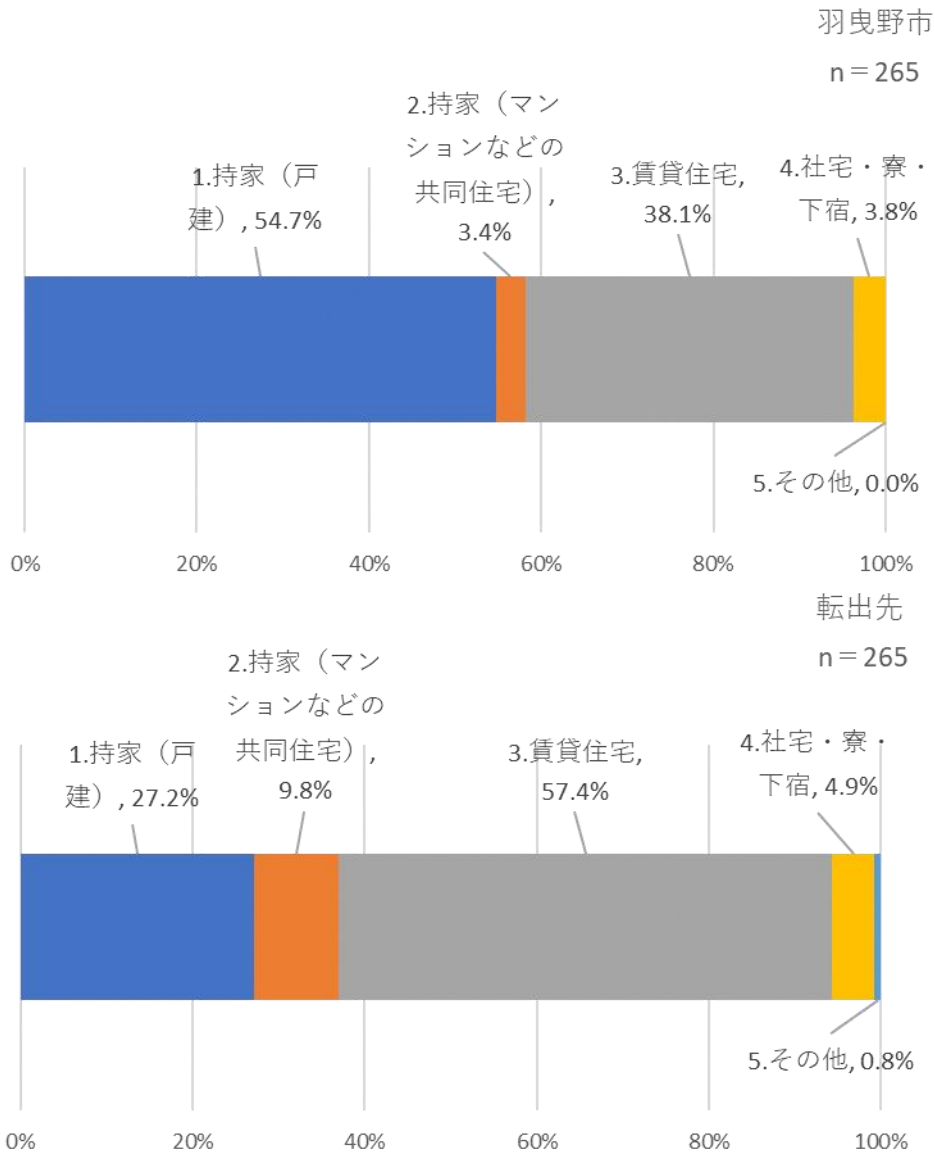
	構成比	回答数
1.富田林市	5.3%	14
2.河内長野市	1.9%	5
3.松原市	5.7%	15
4.藤井寺市	16.2%	43
5.大阪狭山市	0.4%	1
6.太子町	2.3%	6
7.河南町	1.1%	3
8.千早赤阪村	0.0%	0
9.大阪市	30.9%	82
10.堺市	9.8%	26
11.その他	26.4%	70
合計	100.0%	265



(8) 引越前後の住宅

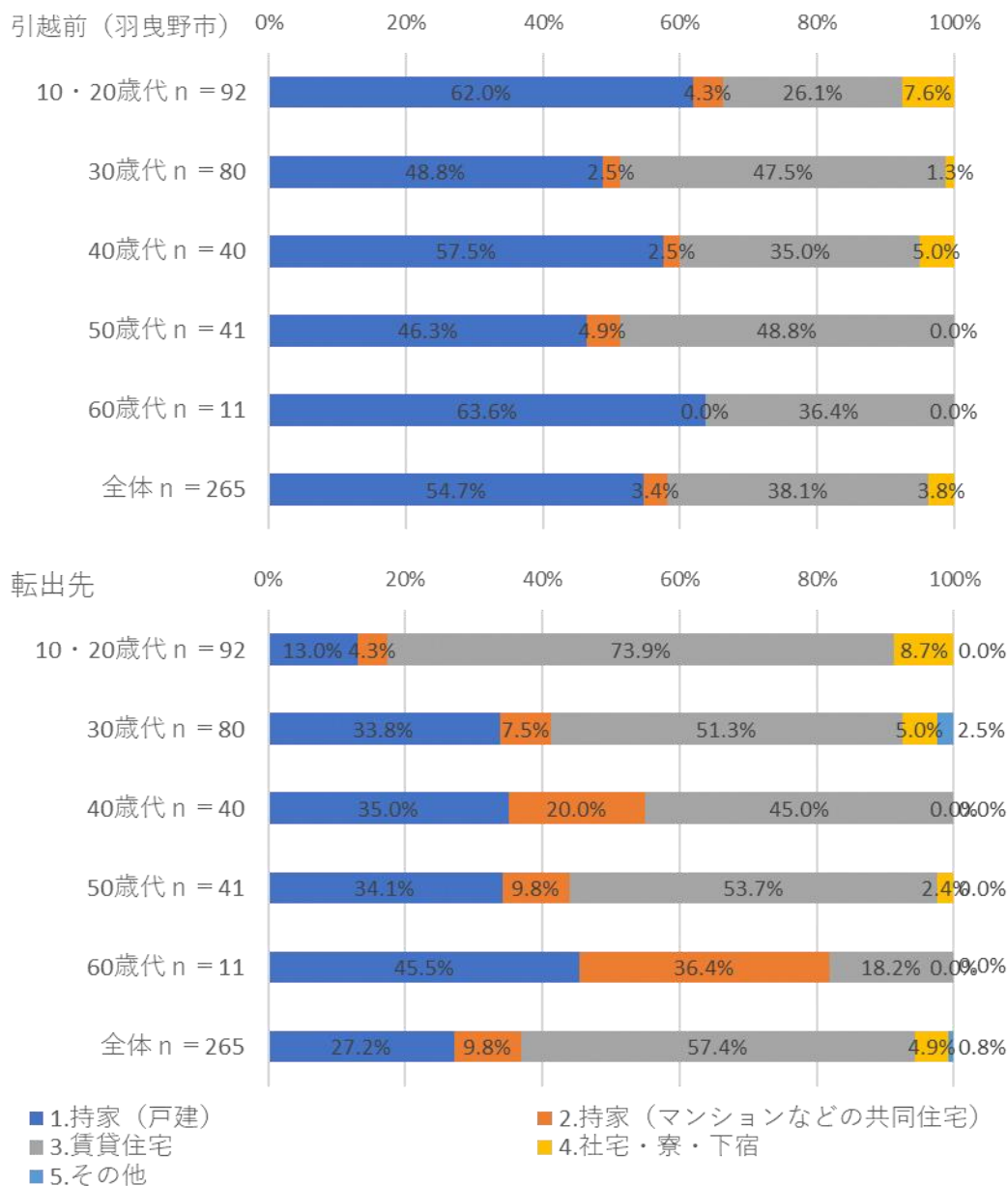
問 8 引越す前（羽曳野市）と引越した後（転出先）の住宅を教えてください。なお、「持家」には家族が所有するものを含みます。（それぞれ1つに○）

転出前（羽曳野市）では「持家（戸建）」が半数以上（54.7%）、転出先では「持家（戸建）」（27.2%）が半減し「賃貸住宅」（57.4%）、「持家（マンションなどの共同住宅）」（9.8%）の割合が大きくなっている。



	引越前（羽曳野市）		引越後（転出先）	
	構成比	回答数	構成比	回答数
1.持家（戸建）	54.7%	145	27.2%	72
2.持家（マンションなどの共同住宅）	3.4%	9	9.8%	26
3.賃貸住宅	38.1%	101	57.4%	152
4.社宅・寮・下宿	3.8%	10	4.9%	13
5.その他	0.0%	0	0.8%	2
合計	100.0%	265	100.0%	265

回答者の年齢別にみると、転出先の住宅は、「持家（マンションなどの共同住宅）」の割合が 40 歳代（20.0%）と 60 歳代（36.4%）で大きくなっている。

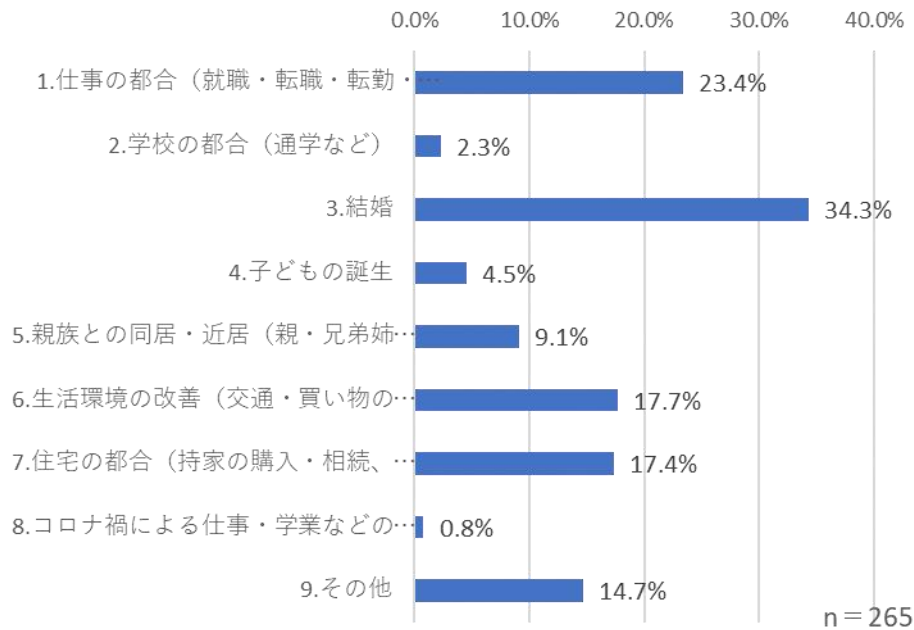


(9) 羽曳野市から引越すこととなったきっかけ

問9 あなたが羽曳野市から引越すこととなったきっかけを教えてください。

(あてはまるものすべてに○)

羽曳野市から引越すこととなったきっかけは、「結婚」(34.3%) が最も多く、次いで「仕事の都合 (就職・転職・転勤・退職など)」(23.4%)、「活環境の改善 (交通・買い物の利便性、治安、医療介護など)」(17.7%)、「住宅の都合 (持家の購入・相続、賃貸住宅の借り換えなど)」(17.4%) が多かった。



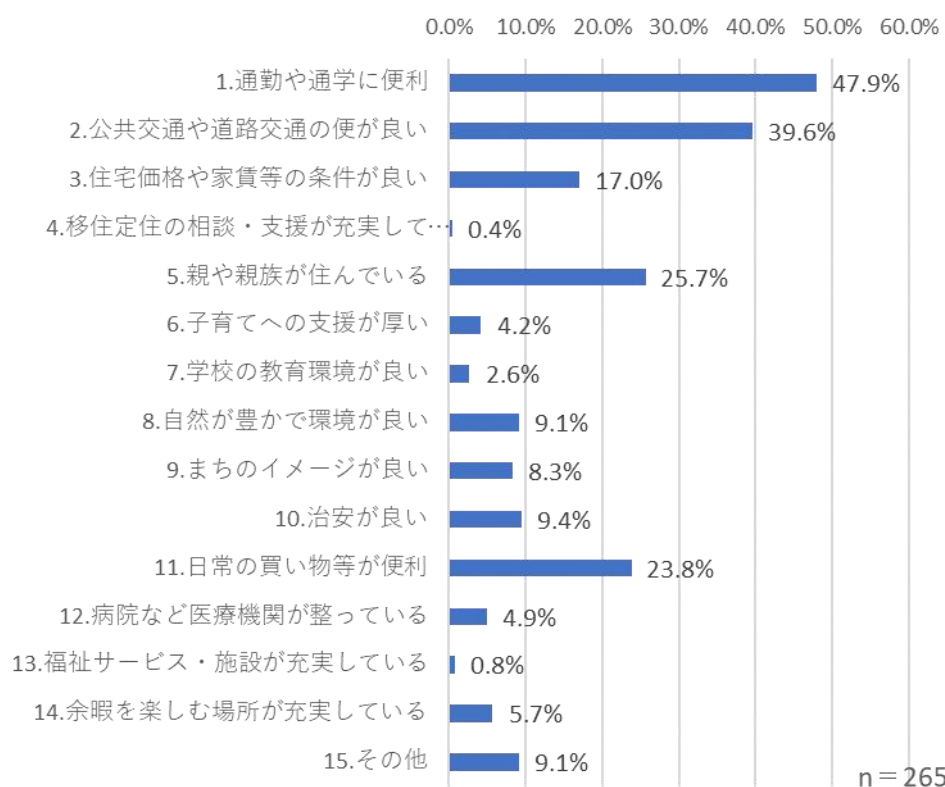
	構成比	回答数
1.仕事の都合（就職・転職・転勤・退職など）	23.4%	62
2.学校の都合（通学など）	2.3%	6
3.結婚	34.3%	91
4.子どもの誕生	4.5%	12
5.親族との同居・近居（親・兄弟姉妹など）	9.1%	24
6.生活環境の改善（交通・買い物の利便性、治安、医療介護など）	17.7%	47
7.住宅の都合（持家の購入・相続、賃貸住宅の借り換えなど）	17.4%	46
8.コロナ禍による仕事・学業などの環境の変化（テレワーク、オンラインなど）や感染リスクの回避	0.8%	2
9.その他	14.7%	39
回答者計	-	265

※構成比はアンケート全回答者数に対する比率

(10) 引越先の市町村を決めた主な理由

問 10 あなたが引越し先の市町村を決めた主な理由を教えてください。（3つまで○）

引越先の市町村を決めた主な理由としては、「通勤や通学に便利」（47.9%）が最も多く、次いで「公共交通や道路交通の便が良い」（39.6%）、「日常の買い物等が便利」（23.8%）、「親や親族が住んでいる」（25.7%）、「住宅価格や家賃等の条件が良い」（17.0%）が多くあげられている。



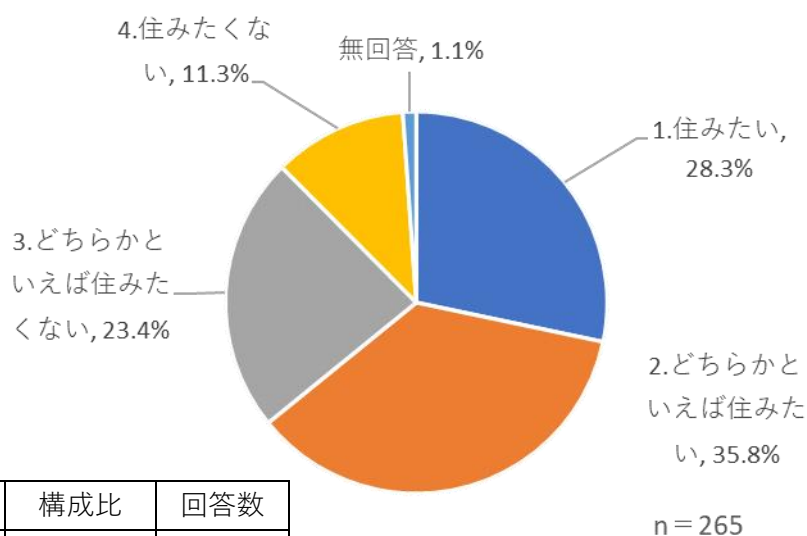
	構成比	回答数
1.通勤や通学に便利	47.9%	127
2.公共交通や道路交通の便が良い	39.6%	105
3.住宅価格や家賃等の条件が良い	17.0%	45
4.移住定住の相談・支援が充実している	0.4%	1
5.親や親族が住んでいる	25.7%	68
6.子育てへの支援が厚い	4.2%	11
7.学校の教育環境が良い	2.6%	7
8.自然が豊かで環境が良い	9.1%	24
9.まちのイメージが良い	8.3%	22
10.治安が良い	9.4%	25
11.日常の買い物等が便利	23.8%	63
12.病院など医療機関が整っている	4.9%	13
13.福祉サービス・施設が充実している	0.8%	2
14.余暇を楽しむ場所が充実している	5.7%	15
15.その他	9.1%	24
回答者計	-	265

※構成比はアンケート全回答者数に対する比率

(11) 羽曳野市にもう一度住みたいか

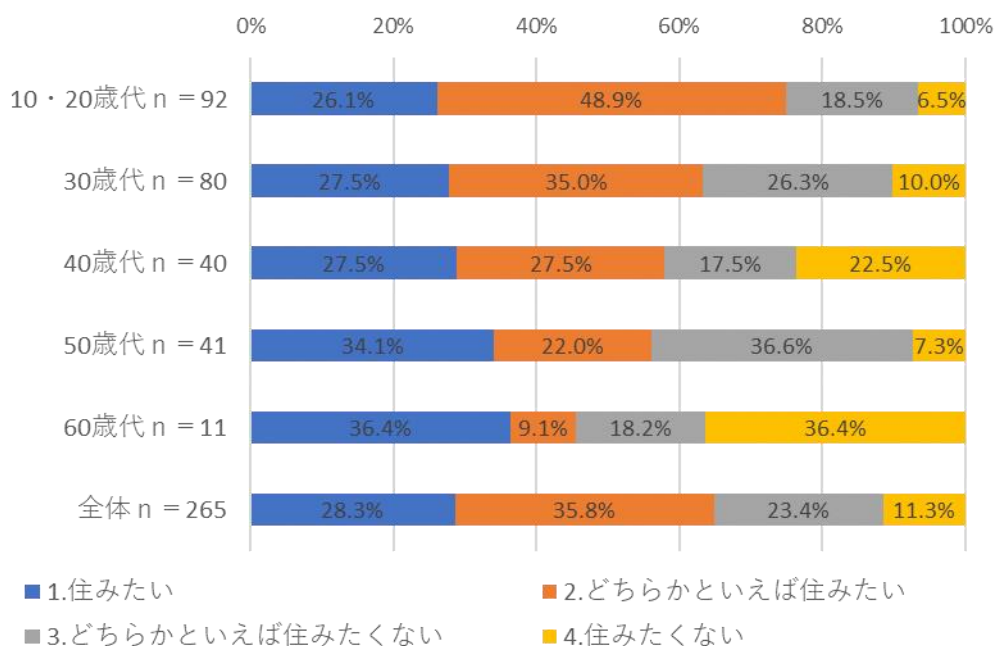
問 11 もし機会があれば、羽曳野市にもう一度住みたいと思いますか。(1つに○)

もし機会があれば、羽曳野市にもう一度住みたいと思うかをたずねたところ、「住みたい」(28.3%)「どちらかといえば住みたい」(35.8%)を合わせると6割以上だった。



	構成比	回答数
1. 住みたい	28.3%	75
2. どちらかといえば住みたい	35.8%	95
3. どちらかといえば住みたくない	23.4%	62
4. 住みたくない	11.3%	30
無回答	1.1%	3
合計	100.0%	265

回答者の年齢別にみると、「住みたい」「どちらかといえば住みたい」の割合は10・20歳代で最も大きく、年代が上がるにつれて低くなっている。逆に「住みたくない」「どちらかといえば住みたくない」の割合は60歳代で最も大きくなっている。

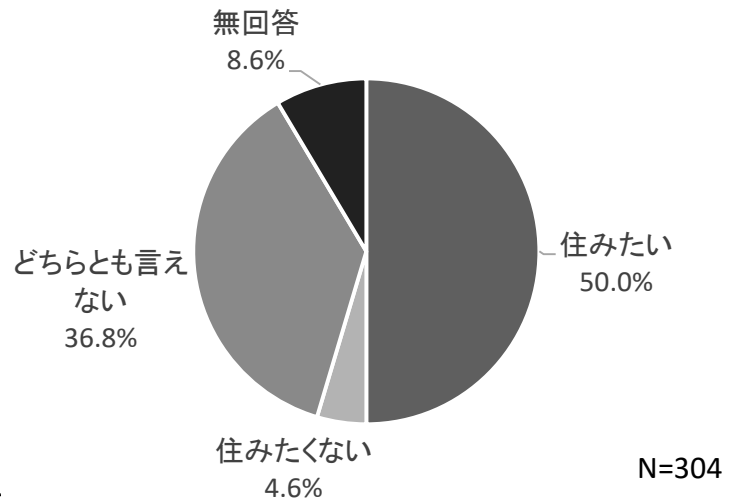


平成 27 年転入者アンケートでは同じ質問をしているが、選択肢が「住みたい」「住みたくない」「どちらとも言えない」であった。今回アンケートの「住みたい」(28.3%)「どちらかといえば住みたい」(35.8%)を合わせると前回アンケートの「住みたい」の 50.0%を上回っている。しかし今回アンケートでは「住みたくない」だけで、前回アンケート「住みたくない」よりも割合が大きくなっている。

<参考>平成 27 年転出者アンケート

もし機会があれば、羽曳野市にもう一度住みたいと思われますか。(1つに○印)

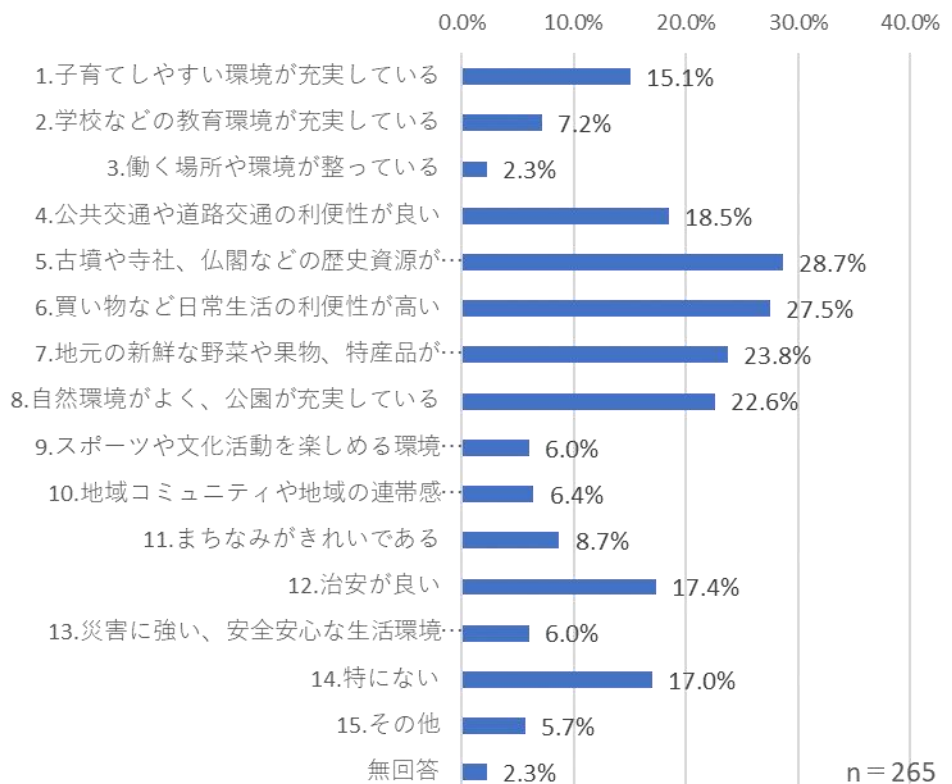
「住みたい」が 50.0%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」が 36.8%で、「住みたくない」が 4.6%と低くなっている。



(12) 羽曳野市で生活していて良かったこと

問 12 羽曳野市で生活していて良かったことを教えてください。(あてはまるものすべてに○)

羽曳野市で生活していて良かったことは、「古墳や寺社、仏閣などの歴史資源が豊か」(28.7%)、「買い物など日常生活の利便性が高い」(27.5%)、「地元の新鮮な野菜や果物、特産品が豊富」(23.8%)、「自然環境がよく、公園が充実している」(22.6%)、「公共交通や道路交通の利便性が高い」(18.5%)、「治安が良い」(17.4%)、「子育てしやすい環境が充実している」(15.1%)が多くあげられている。



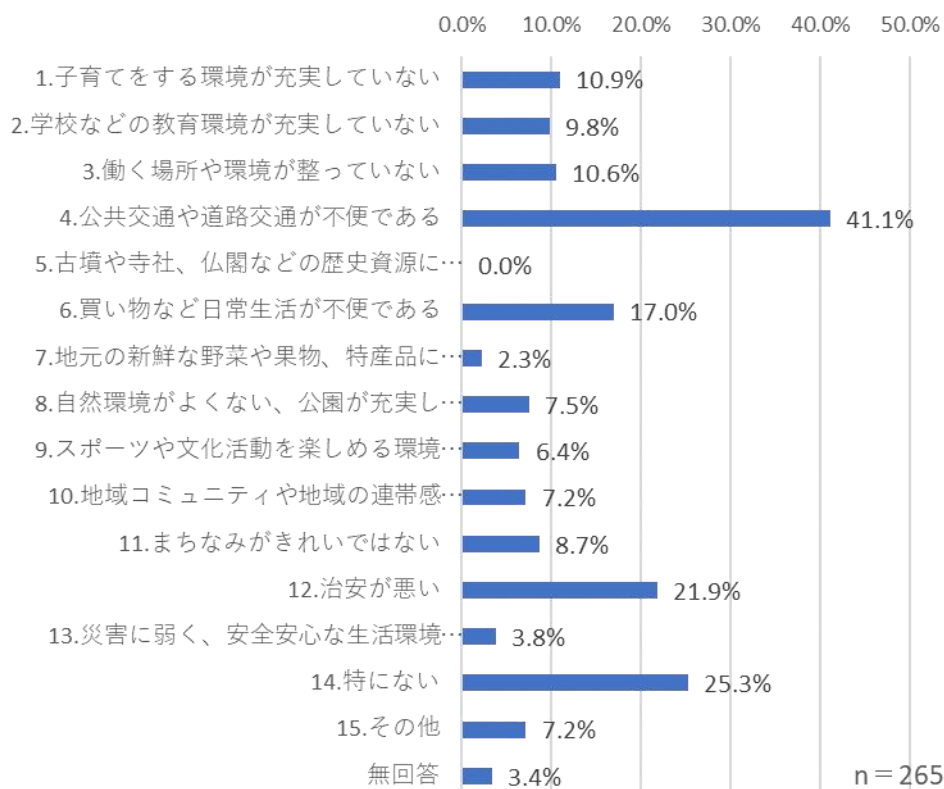
	構成比	回答数
1.子育てしやすい環境が充実している	15.1%	40
2.学校などの教育環境が充実している	7.2%	19
3.働く場所や環境が整っている	2.3%	6
4.公共交通や道路交通の利便性が良い	18.5%	49
5.古墳や寺社、仏閣などの歴史資源が豊か	28.7%	76
6.買い物など日常生活の利便性が高い	27.5%	73
7.地元の新鮮な野菜や果物、特産品が豊富	23.8%	63
8.自然環境がよく、公園が充実している	22.6%	60
9.スポーツや文化活動を楽しめる環境が整っている	6.0%	16
10.地域コミュニティや地域の連帯感が高い	6.4%	17
11.まちなみがきれいである	8.7%	23
12.治安が良い	17.4%	46
13.災害に強い、安全安心な生活環境が整っている	6.0%	16
14.特にない	17.0%	45
15.その他	5.7%	15
無回答	2.3%	6
回答者計	—	265

※構成比はアンケート全回答者数に対する比率

(13) 羽曳野市で生活していて不満だったこと

問 13 羽曳野市で生活していて不満だったことを教えてください。(あてはまるものすべてに○)

羽曳野市で生活していて不満だったことは、「公共交通や道路交通が不便である」(41.1%)、「治安が悪い」(21.9%)、「買い物など日常生活が不便である」(17.0%)、「子育てをする環境が充実していない」(10.9%)、「働く場所や環境が整っていない」(10.6%)が多くあげられている。なお、「古墳や寺社、仏閣などの歴史資源に乏しい」は0だった。



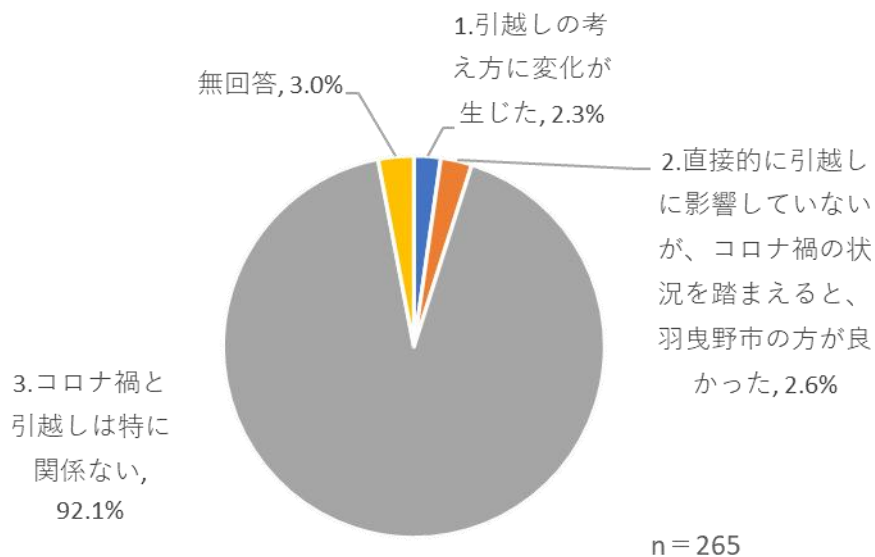
	構成比	回答数
1.子育てをする環境が充実していない	10.9%	29
2.学校などの教育環境が充実していない	9.8%	26
3.働く場所や環境が整っていない	10.6%	28
4.公共交通や道路交通が不便である	41.1%	109
5.古墳や寺社、仏閣などの歴史資源に乏しい	0.0%	0
6.買い物など日常生活が不便である	17.0%	45
7.地元の新鮮な野菜や果物、特産品に乏しい	2.3%	6
8.自然環境がよくない、公園が充実していない	7.5%	20
9.スポーツや文化活動を楽しめる環境が整っていない	6.4%	17
10.地域コミュニティや地域の連帯感が低い	7.2%	19
11.まちなみがきれいではない	8.7%	23
12.治安が悪い	21.9%	58
13.災害に弱く、安全安心な生活環境が整っていない	3.8%	10
14.特になし	25.3%	67
15.その他	7.2%	19
無回答	3.4%	9
回答者計	-	265

※構成比はアンケート全回答者数に対する比率

(14) コロナ禍による引越しの考え方への影響

問 14 コロナ禍によって、あなたの引越しの考え方によどのような影響があるか教えてください。
(1つに○)

コロナ禍による引越しの考え方への影響については、「コロナ禍と引越しは特に関係ない」(92.1%)が大多数だった



	構成比	回答数
1. 引越しの考え方に変化が生じた（コロナ禍が原因で引越した、引越し先の物件や地域を再検討したなど）	2.3%	6
2. 直接的に引越しに影響していないが、コロナ禍の状況を踏まえると、羽曳野市の方が良かった	2.6%	7
3. コロナ禍と引越しは特に関係ない	92.1%	244
無回答	3.0%	8
合計	100.0%	265